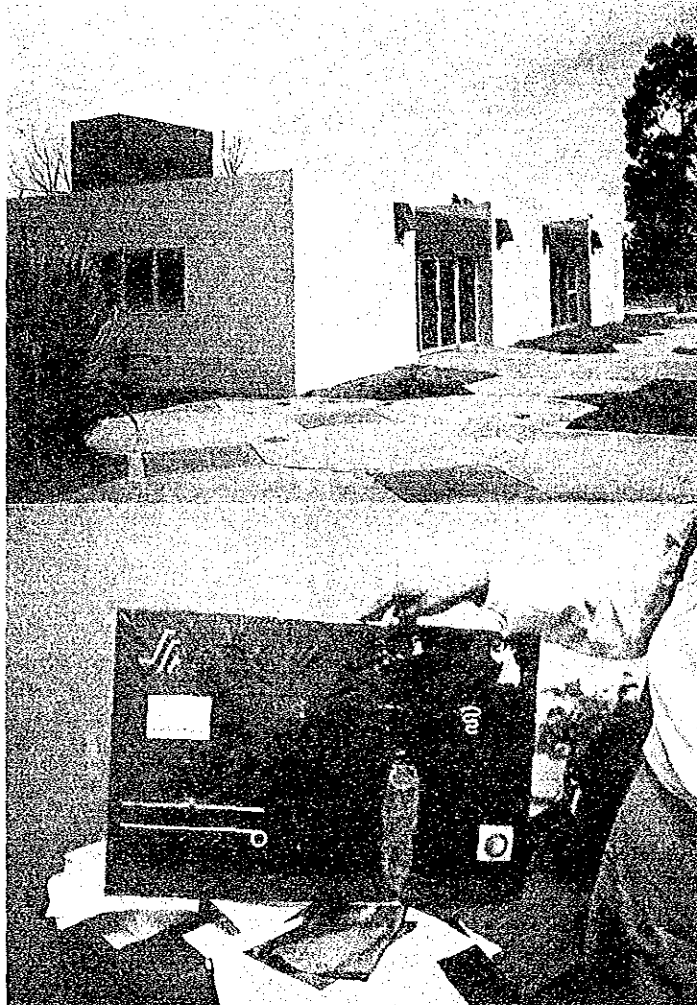


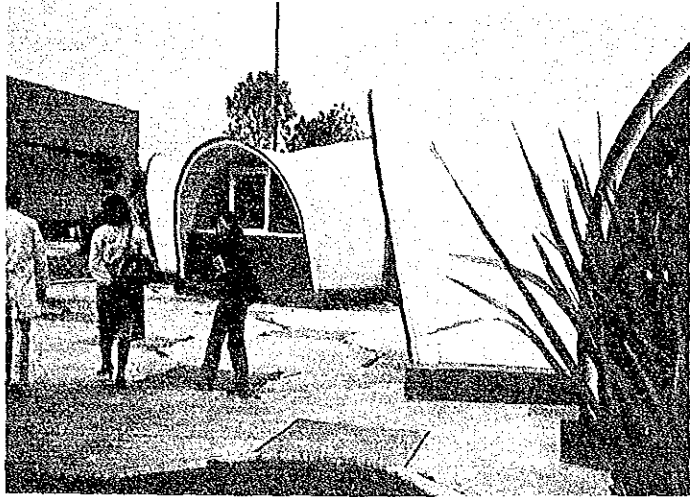
22. 10年間で100万都市になった。
ネサルコヨトル市のSSAの病院。
(1983年12月)。



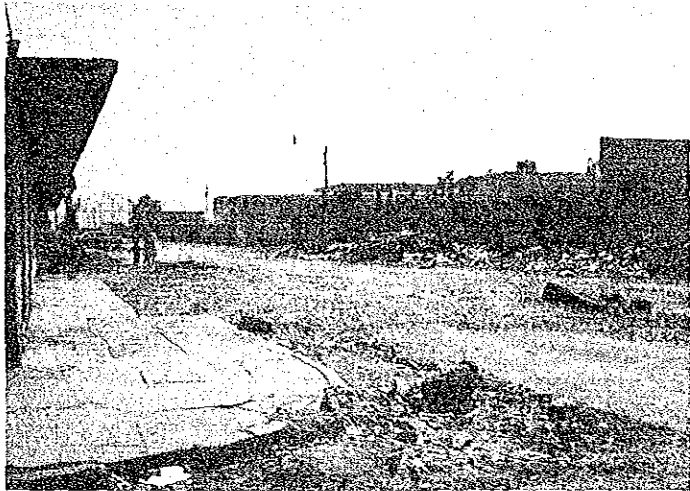
23. 同病院内の家族計画用
クリニック。

24. 同クリニック内に掲示し
してある，避妊具。

25. 同上，病院内歯科クリニック。



26. ネサワルコヨトル市内。
都市もどんどん整備されつつあるが、1970年に64万人であった人口が、1983年に185万人にもなったという。人口急増に追いつけない感あり。

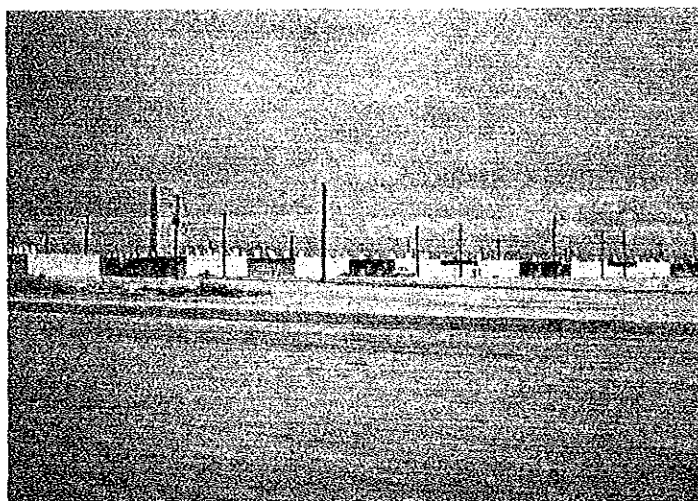


27. ゴミにより埋め立てられるテスコ湖。(ネサワルコヨトル市)。

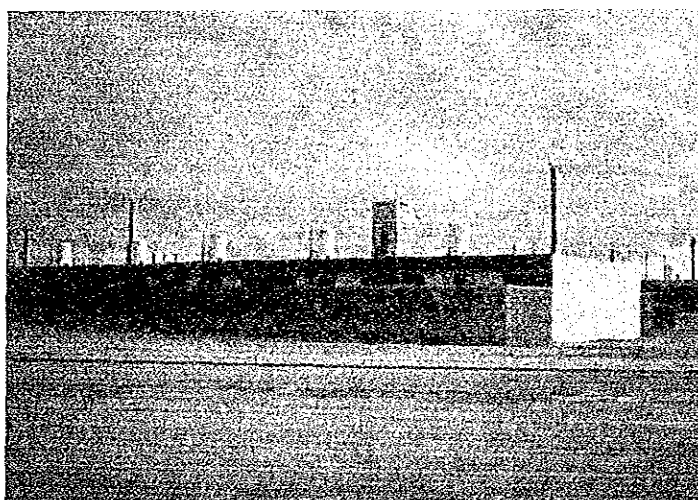




28. 世界的に有名な、カリブ海に面した保養地、カンクンの砂州に連なるホテル群。この地域での一般住宅などの建設は禁止されている（1983年12月石井専門家撮影）。



29. カンクン市街、ホテル群と反対の地域に建設されている、主にホテル従業員たちを対象にした住宅群。長屋の形であるが、1戸50万ペソ。

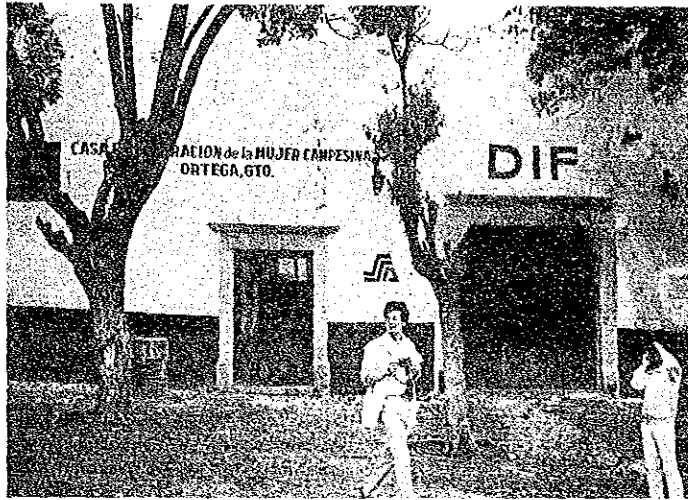


30. 同上、屋根に立つ白いのは水のタンク。

31. グァナファトサンルイデラパス
オルテガ村の農村女性による生
活向上運動の中心となる建物にあ
ったパネル(1984年7月)。

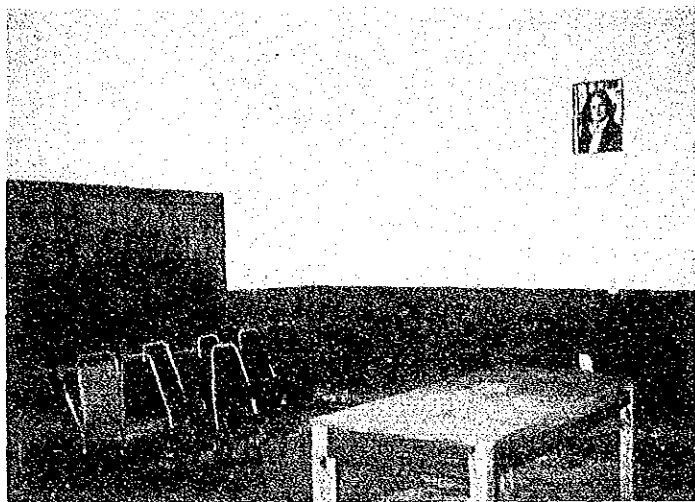


32. 同上, 集会場や作業場などとな
っている建物。昔のアシェンデの
建物を利用している。写真中央に
立つは, 廣島団員。

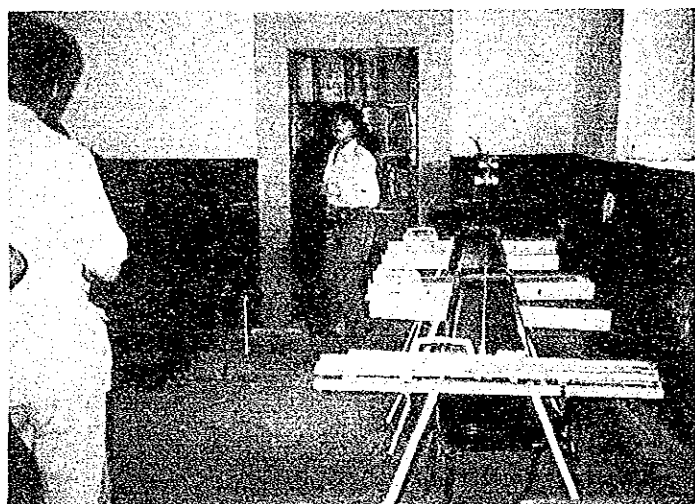


33. 同上, 中央は運動の中心となっ
ている女性は, 調査団に同行した
CONAPOカルメン・ドランテス
課長。

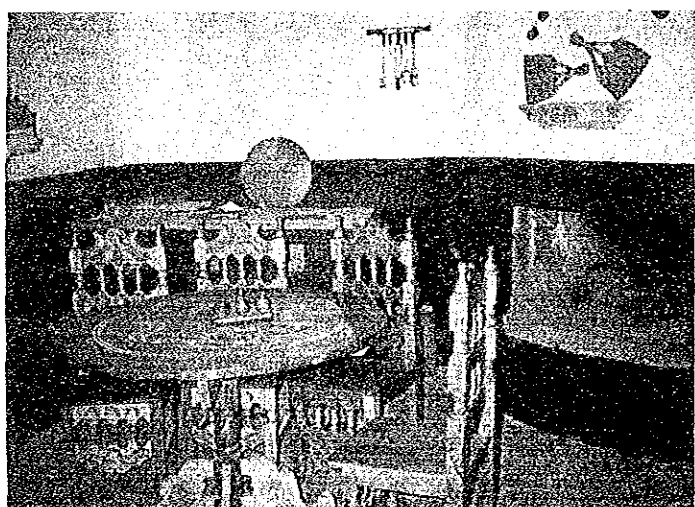




34. (オルテガ村)集会室。

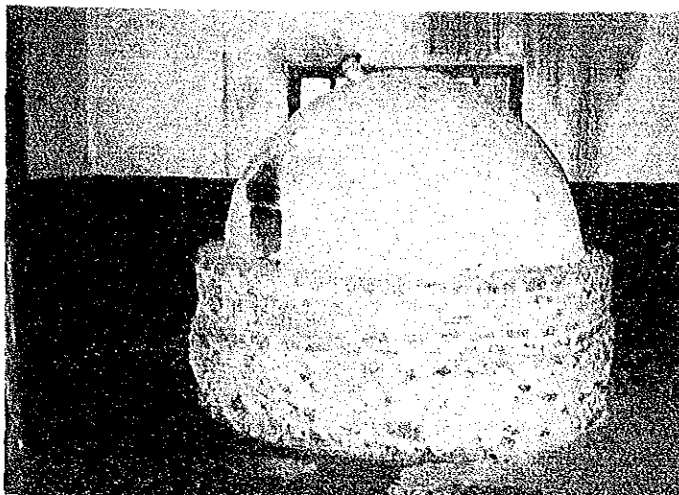


35. 編物機による作業室。



36. 食堂。

37. (オルテガ村)パン焼ガマ。

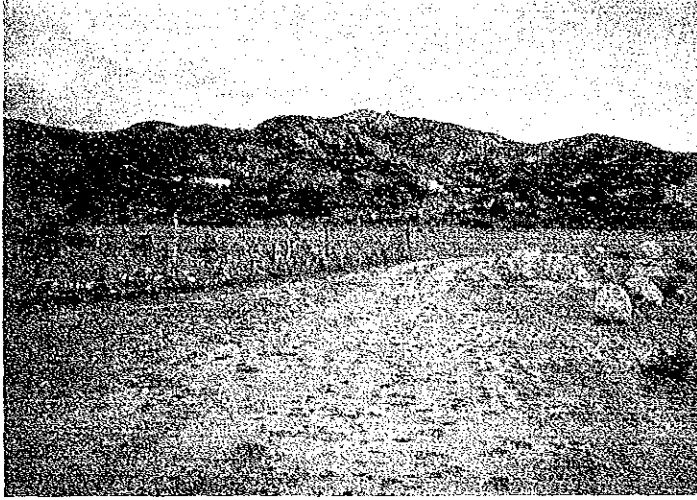


38. 廃虚の感じが良く分る、内側の建物の様子。

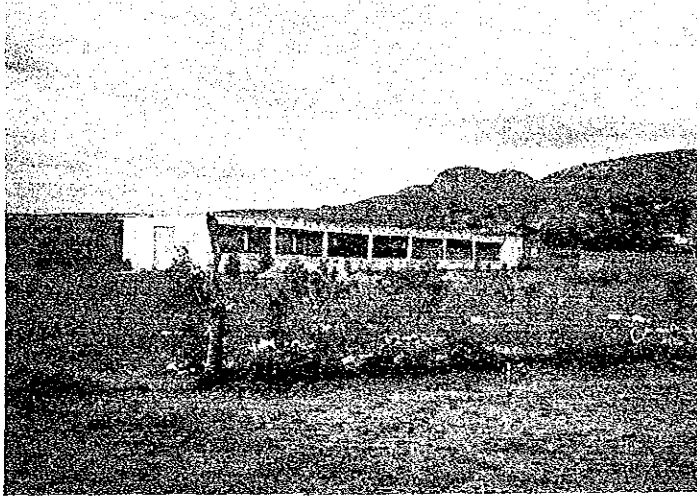


39. 男性陣により、飼育されている豚。

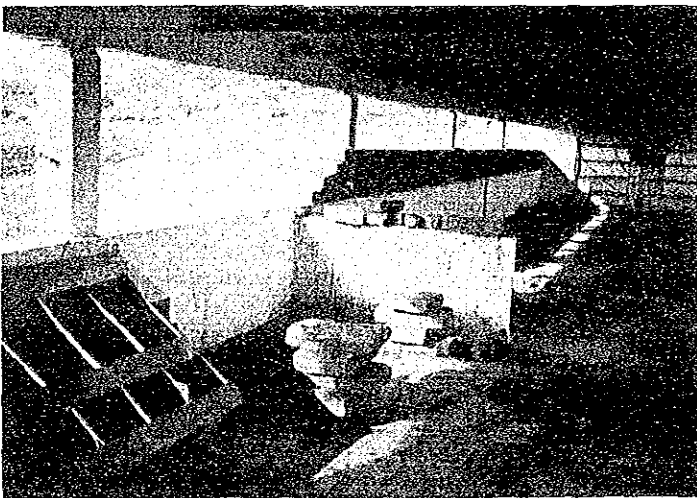




40. グアナファト州サンホセイトル
ビデ郡ヴェナビスティア村。山の
中腹に村人の民家が見える(1984
年7月)。



41. 同上, 女性たちによる養鶏場。



42. 同上養鶏場内部。現在は、鶏を
売却後で飼育していない。

43. (ブエナビティア村) 女性運動の
共有地。



44. パン焼きガマ。



45. 編機によるベビーウェア。1着
35ペソくらいで、利益はほんの
わずかとのこと。

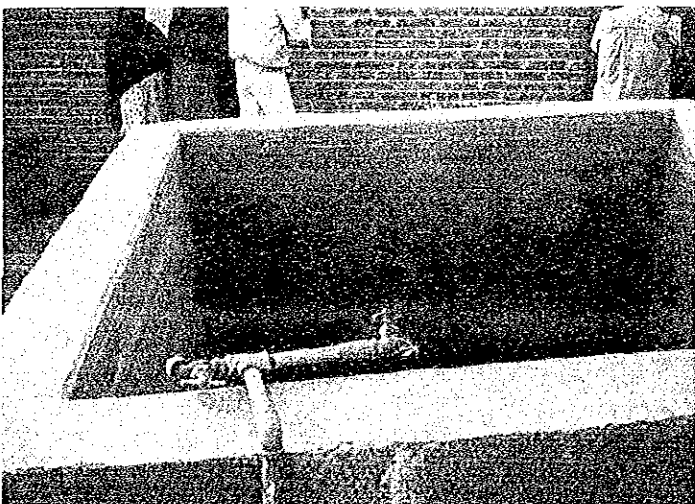




46. (ブエナビステシア村)
集会場兼作業室で説明を聞く調査
団。右側サングラスの女性は、町
から時々指導に来るソーシャル、
ワーカー、マルガリータ女史。



47. 同上，左側，テーブルについて
いる女性が，リーダーのホセ・ビ
ナ女史。



48. 工事中の、水タンク。どこでも
水の問題は深刻である。

49. イダルゴ州ウィチアパン郡の女性による生活改善運動の根拠地。中央建物は、養鶏場。手前はかんがい用の溜池。(1984年7月)



50. 右が、養鶏場入口。風が強く、鶏も飼育中数羽死んだため、風よけにシートを張ったとのこと。



51. 共有地。石ころだらけのところを整地しつつある。





52. (ウィチアパン郡) 工事中の水タンク。

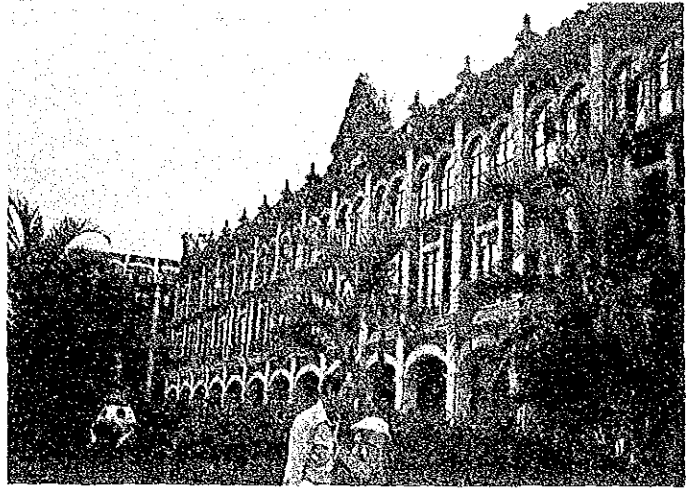


53. 集会室で説明する、リーダーのカルメン女史(黒いスカート姿)。

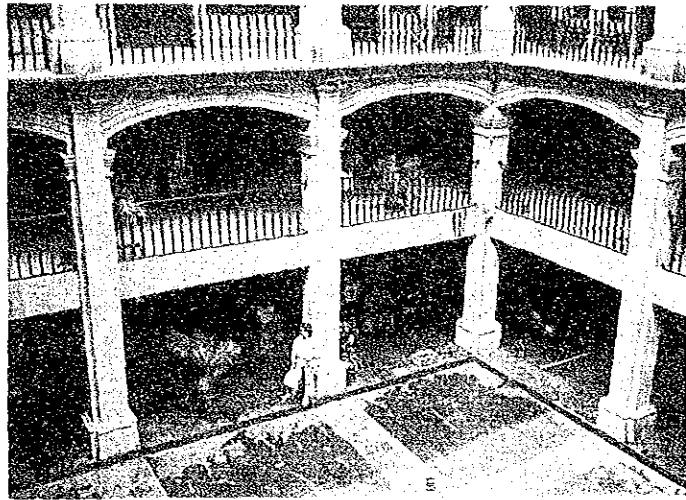


54. 色とりどりの養蜂箱。大事な栄養源となっている。中央後方にウィチアパンの町が見える。

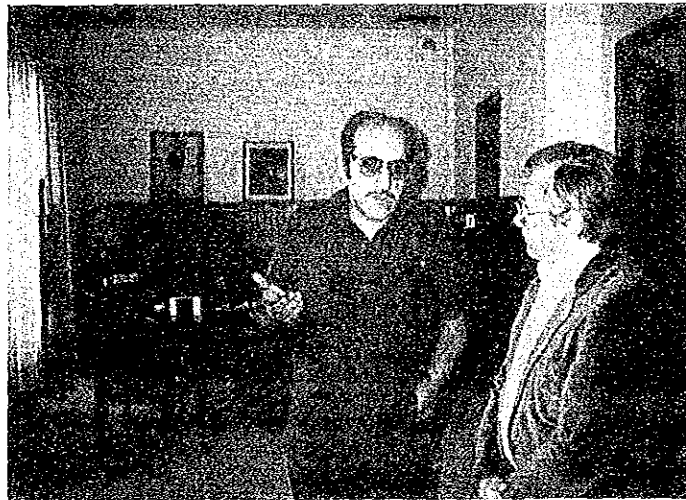
55. モロロス州の州庁建物。(1984年7月)。

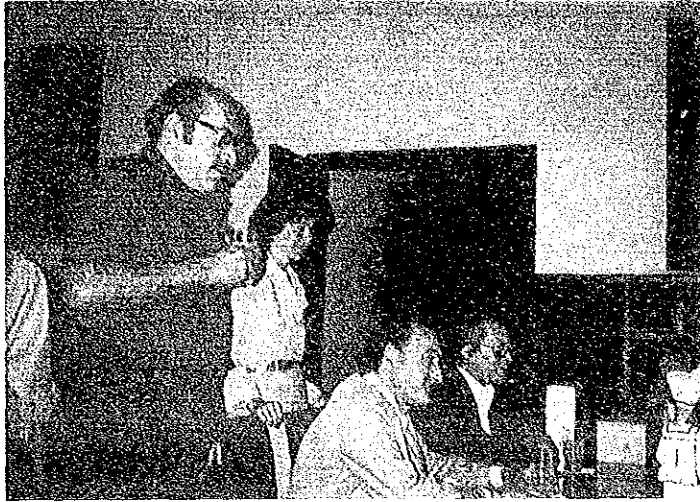


56. 同上、中庭に面した廻廊。

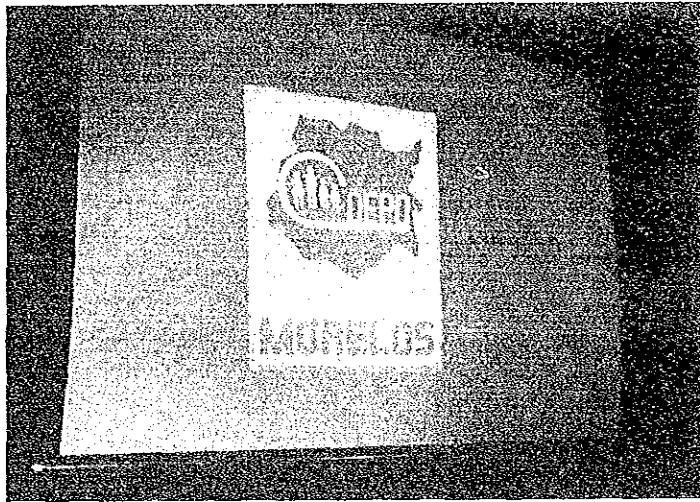


57. 右端の副知事格の知事秘書室に説明するモロロス州COEPO局長。ホルヘ・ガテム氏。





58. (モレロス州)知事執務室で談笑する左からCOEPO局長、秘書(日系女性とか)、リベラ氏、知事秘書官。



59. COEPOにて、州の紹介スライド上映された時の一コマ。解説は、何と日本語で、州内にある日系自動車会社工場長の秘書に頼んだということであった。

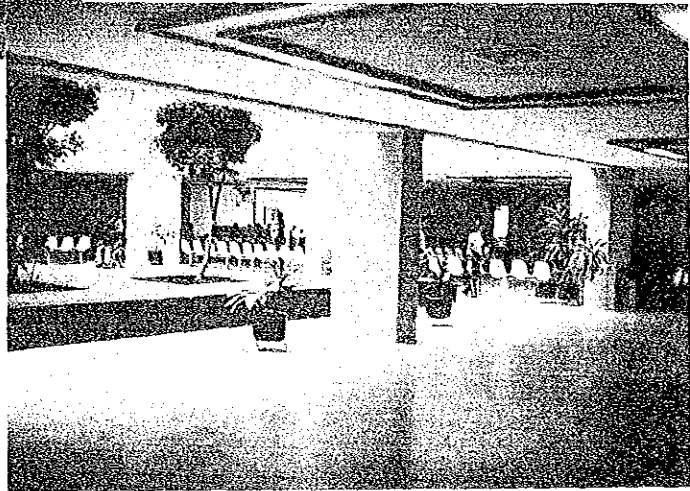


60. COEPO事務局にて、話し合う局長と小林団長。



61. クエルナバカ市IMSSの
Regional Hospital。ベッド数
550。1979年開院。

62. 同上，病院内ロビー。

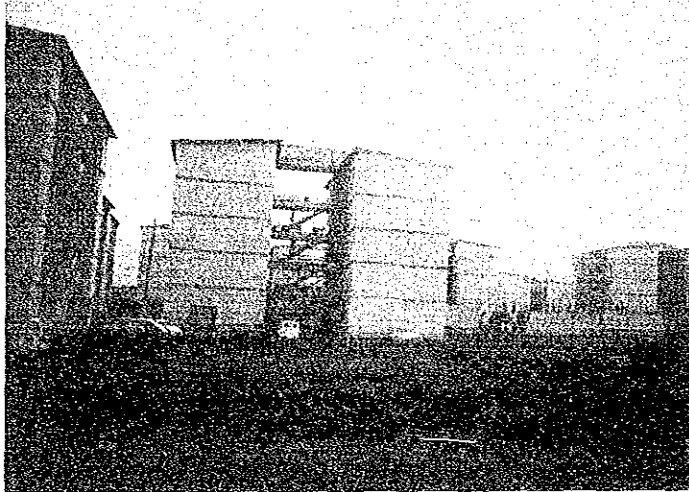


63. 同上，院長や産婦人科医長，家
族計画主任医師などに説明を受け
る調査団。





64. モレロス州住宅持家制度推進局にて、アルギス局長(左端)から説明を受ける(1984年7月)。



65. 住宅団地開発法により建設された団地。



66. 団地内のスーパーマーケット。

67. 老令化問題研究会にて、調査団に説明する。左からリーダー格のホランド女史、COEPO イレーネ女史、コーディネーターのマリ・ロドリゲス女史、エレン・シュベルツ女史。(クエルナバカ市にて、1984年7月)

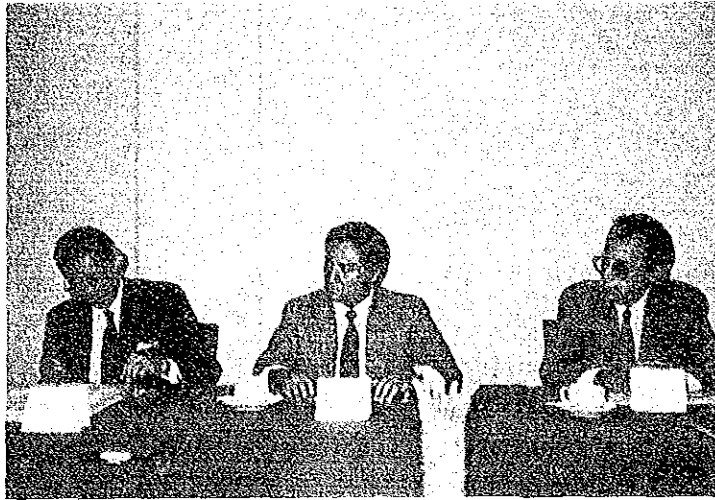


68. 国際婦人年の時に用いた幕を背に、老令化問題を話すホランド女史。



69. 州COEPO主催昼食会にて談笑風景 (Hotel Hachenda COCOYOCにて、1984年7月)。





70. 第1次実施協議調査団とCONAPOとの打合せ模様(1)。左より、中澤団長、マルチネス総長。



71. 同上(2)。右よりヴィダルディ秘書、上原所長。



72. 同上(3)。

